

## ◆ 第1回ワークショップ実施概要

### 実施概要

場所：中央公民館会議室

日時：2025年12月7日(日)

参加者：真室川町のみなさん(21名)

真室川町職員 教育課(3名)

企画課(2名)

WS運営(ファシリテーター、進行役ほか)

真室川町職員 教育課(2名)企画課(1名)

山形県建設技術センター(1名)

秦・伊藤設計(5名)

合計35名

### ワークショップ内容

ファシリテーター挨拶・趣旨説明

ワークショップのゴール、ルールについて説明

プロポーザル案の説明

秦・伊藤設計より説明

グループワーク①

アイスブレイク：2人1組で似顔絵を描きました

テーマ①『現状の課題を整理しよう』：

現在の中央公民館の課題、町の課題など付箋に

張り出し、共有してグルーピングをしました

グループワーク②

テーマ②『こんな交流センターにしたい』：

新しい交流センターにはどんなものが必要か付箋に

張り出し、共有してグルーピングをしました

204個の課題と、215個のアイディアが集まりました!!

### 配布資料-1

地域交流センター建設事業  
第1回ワークショップ

第1回全体テーマ

『どのような交流センターを望むか  
～賑わいや交流を創出するアイデア～』

タイムスケジュール

13:00 - 13:30 開場・受付

はじめに(15分)

13:30 - 13:40 挨拶・説明

ファシリテーター挨拶・趣旨説明 | 教育委員会教育課

インプット(10分)

13:40 - 13:50 プロポーザル案の説明 | 秦・伊藤設計

真室川でどんな活動、  
交流が不足している?

グループワーク①(30分)

13:50 - 14:00 自己紹介&アイスブレイク

誰かのアイディアの  
よいところをほめる

14:00 - 14:25 テーマ①『現状の課題を整理しよう』他のグループのアイディア  
も見に行ってみましょう

NICE!

否定はせずに

休憩(10分)

14:25 - 14:35 お菓子、お飲み物はご自由にどうぞ!!

賑わいや交流を創出するには?

グループワーク②(30分)

14:35 - 15:05 テーマ② こんな交流センターにしたい

誰にこだわらず  
たくさんアイディア  
を出す

全体共有(15分)

15:05 - 15:20 どんなアイディアが出たか全体で発表

深く考えすぎない♪

まとめ(10分)

15:20 - 15:30 総評・次回の予告

次回にアイディアを  
活かしましょう



はじめにアイスブレイクとして似顔絵を描きました



「町の課題」と「交流センターのアイディア」を集めました



最後にアイディアの共有を行いました

### 配布資料-2

ワークショップにあたって

◆ 本日のグループ分け



グループ1  
梅



グループ2  
ウグイス



グループ3  
マムロガワクジラ



グループ4  
ハチトンボ

◆ グループワークの約束



NICE!

否定はせずに



自由な発想で★

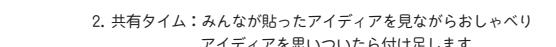


いいところは真似する!!

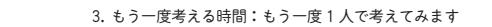
◆ グループワークの流れ



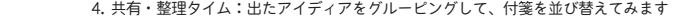
1. 考える時間：まずは1人で考えて、付箋に書いてどんどん貼りましょう



2. 共有タイム：みんなが貼ったアイディアを見ながらおしゃべり  
アイディアを思いついたら付け足します



3. もう一度考える時間：もう一度1人で考えてみます



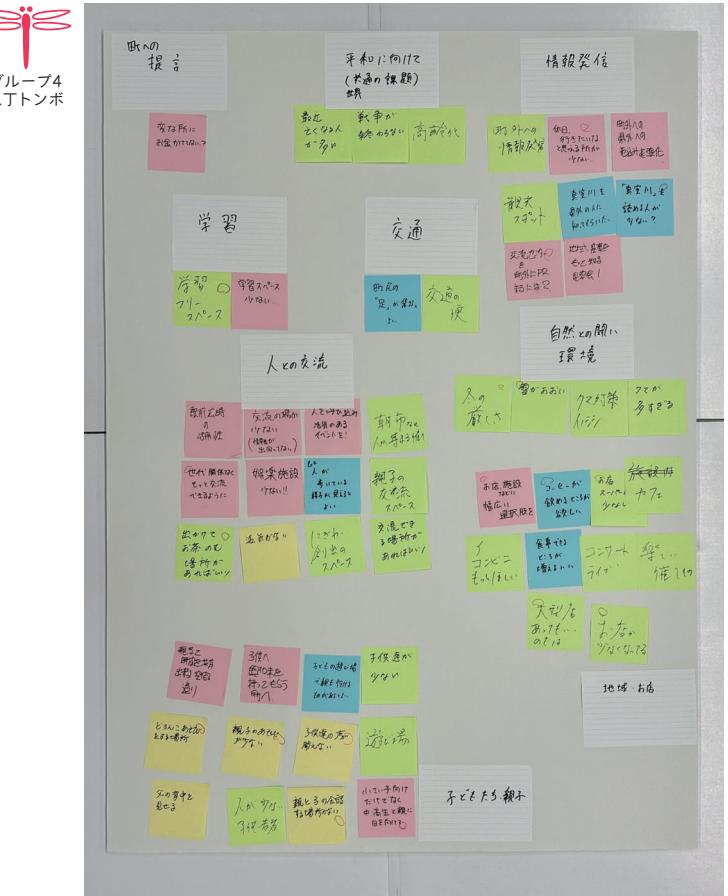
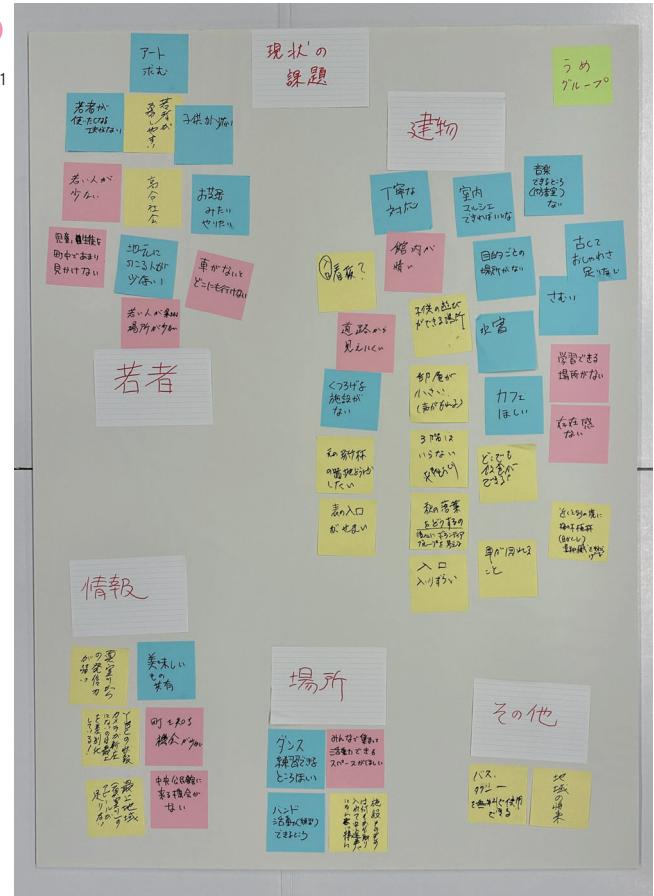
4. 共有・整理タイム：出たアイディアをグルーピングして、付箋を並び替えてみます



最後にどんなアイディアが出たか、全体で発表하겠습니다

# WS の成果

## テーマ① 現状の課題を整理しよう



## テーマ② こんな交流センターにしたい



## 分析1 課題の抽出、整理

### 課題（テーマ①）のグルーピング

各班のグルーピングを言葉を補いながら統合し、全体的な傾向をつかみます  
また、同様の課題が複数出たもの、少数意見でも的確なものなどの  
キーワードをピックアップしていきます

凡例



### 見えてきたこと

地域交流センターに期待すること・地域交流センターの役割  
『出かける先となり、みんなで集まる（集まつてくる）場所』

若い人が集まる  
場所が必要

#### 若者（中高生）

- 将来を見据えて
- 中高生

イベント（非日常）が  
もっとあってほしい

#### イベント

- まつり
- 酒飲み・朝市・芝居
- 人が集まる
- コンサート、ライブ
- 町全体が盛り上がる

交通の利便性向上が必要  
交流センターに「足」が集まってほしい

#### 交通

- バス停
- 交通の便
- きれいな道
- 安心して歩ける道
- 駅との関係

出かける先の存在、  
人がいること、元気を感じたい

#### 町の課題全般

- 憩いの場が少ない
- 出かける先がない
- 元気がない
- 働く場所
- 高齢化
- 地元に人が残る

町に学習スペースが必要

#### 学習

##### 学習スペース

多くの人が訪れる、  
訪れたくなる工夫が必要

#### 施設運用

- 来る機会が少ない
- わかりやすさ
- 利用者の固定化
- ホールの使用率
- 50代以下の世代が通いたくなる

観光情報などの町外への発信、  
施設の使い方に関する発信が必要

#### 情報

- 真室川のPR
- 内装の真室川らしさ
- 地域産業を知る
- 施設の活用方法
- 観光情報

雪・水害対策のある施設に

#### 環境

- クマ、イノシシ、タヌキ対策
- 水害対策
- 高齢化とともに雪囮いなどが大変に
- 自然環境の悪化
- 落雪、多雪への対策

親子の遊び場、交流の場がない

#### 子育て

- どろんこ遊び

自由に読書できる空間が必要

#### 図書

- ゆっくりくつろぐ
- 寝そべって

敷地外からの施設の存在感をどうだすか

#### 敷地

- 道路から見えづらい
- 看板
- 敷地の入口が狭い
- 隣地との植栽
- 施設を利用しない人でも利用できる芝生スペース

#### その他

- アート
- 温泉マナー
- 戦争
- 体重

飲食を通じた体験をもっと  
お店をもっと

#### 飲食・購買

- カフェ
- コンビニ
- お店がもっとほしい
- 食を楽しむ形がない

音を出せるスタジオがほしい  
全体的に時代に応じた更新を

#### 公民館の設備

- 古い、暗い、寒い
- 段差、階数、階段→バリアフリーの配慮
- 大きい荷物の運べるELV
- 防音性
- ダンス
- 女性トイレをもっと多く
- 軽音楽
- 調理室

日常使いのできる場所、  
世代を超えて、みんなで集まれる場所

#### 交流の場所

- にぎわい
- みんなで集まれる場所
- お茶を飲む
- ゆっくりできる
- 世代を超えて
- 交流の場が少ない

## 分析1 課題の抽出、整理



テーマ①での各班のグルーピングを基にグルーピングを再整理し、同様の内容の付箋を重ねた様子

## 分析2 にぎわいのアイディアの整理

### アイディア(テーマ②)のグルーピング

各班のグルーピングを言葉を補いながら統合し、同様のアイディアが複数出たものはまとめていきます。次に基本構想およびプロポーザル提案の中に同様の考え方方が含まれるものと「ある」含まれていないものを「なし」に分けます。また、すぐに場所や家具で具体化できるアイディア(具体)と、施設に求める雰囲気や運用等の工夫と合わせて実現させることができるアイディア(概念)に分けて、次回のワークショップのテーマにすべき内容に整理します。

凡例

提案で想定したいた場所  
アイディアの  
グルーピング  
同じアイディアが  
たくさん出ている  
場合は太文字紹色

### 見えてきたこと

#### 地域交流センターに望まれる雰囲気と使い方

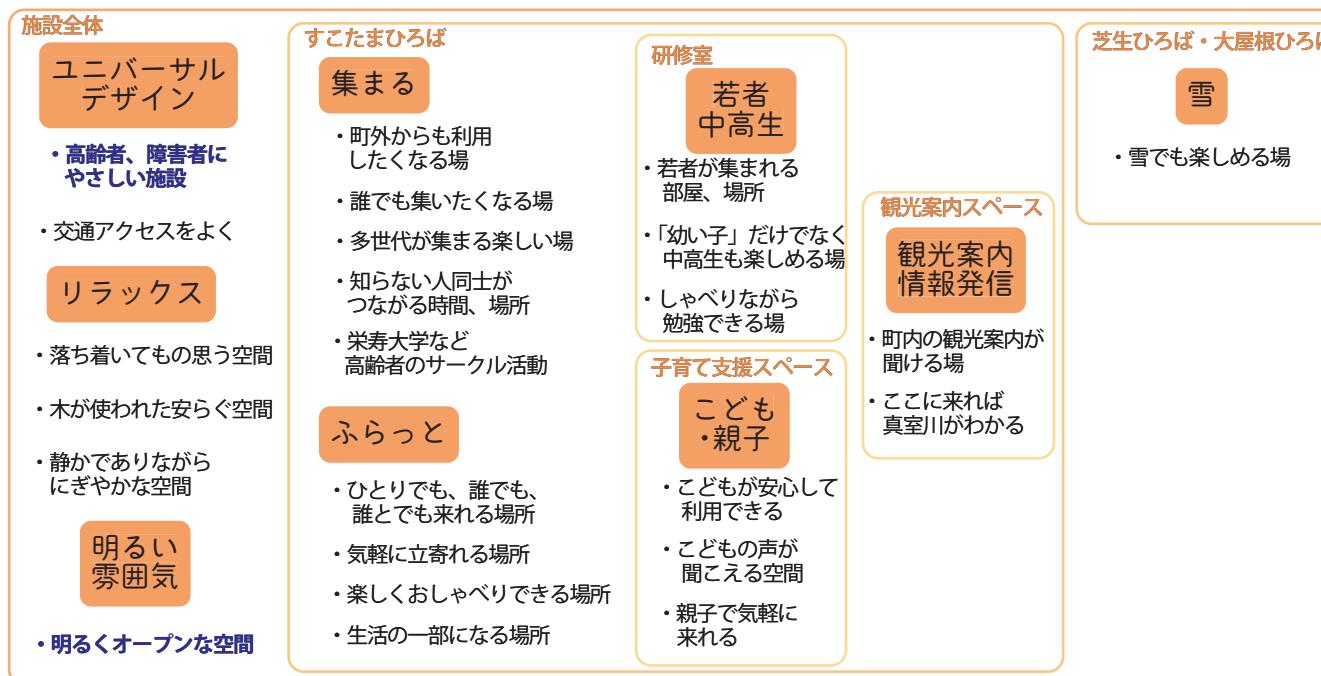
- 明るくオープン、ふらっと集まる、誰でも使いやすい
- いつも何か起きている
- にぎやかにも、静かにも使える

#### 深掘りしたいこと

- 「ある」 - 「概念」アイディアのもう少し具体的なイメージ
- 「ある」 - 「具体」アイディアの提案内容に対するイメージの一一致具合
- 「なし」アイディアのどれをどのように取り入れていくか

ある

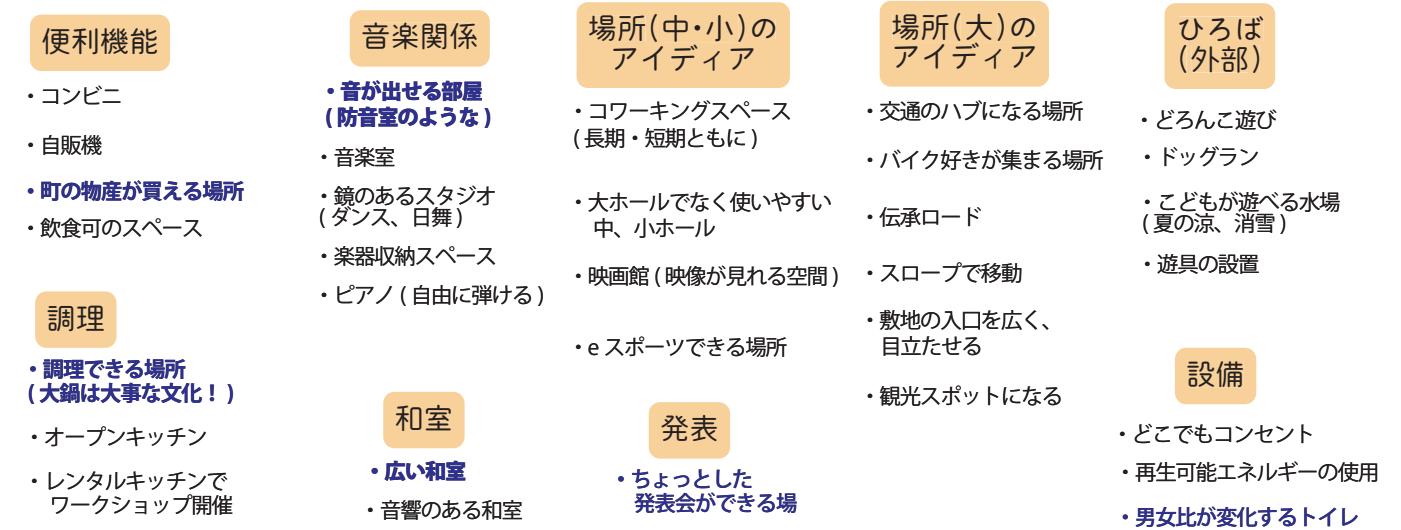
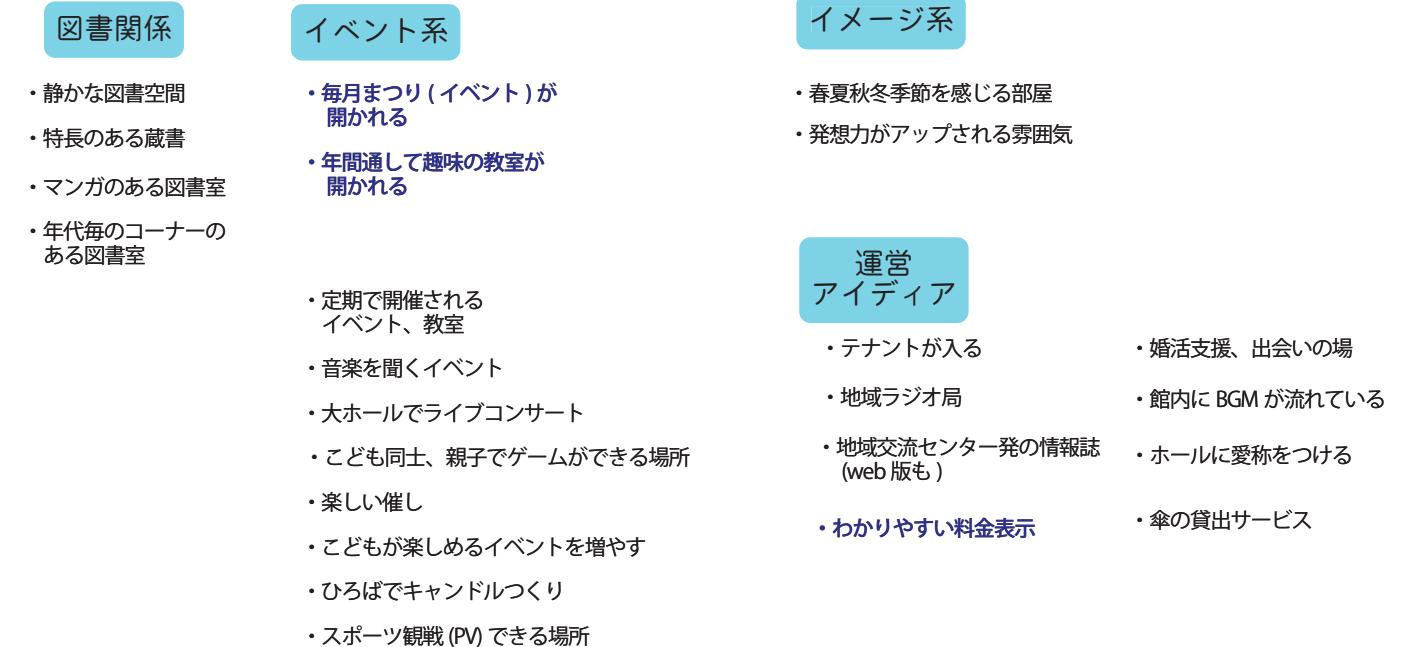
概念



具体



なし



## 分析2 にぎわいのアイディアの整理



テーマ②のアイディアを基本構想、プロポーザル提案に「ある」 - 「なし」、場所や家具で具体化できるかどうかで「概念」 - 「具体」で4象限に分けた様子